

令和3年度第1回 山県市総合教育会議議事録

1 日時

令和3年9月28日(火) 午後1時15分～午後2時35分

2 場所

山県市役所3階 会議室302

3 出席者

市長 林 宏優

教育長 服部 和也

委員 千葉 純 委員 川田 八重子

委員 大野 良輔

事務局 学校教育課長 日置 智夫

生涯学習課長 藤根 勝

企画財政課長 谷村 政彦

学校教育課課長補佐 渡瀬 和則

その他 梅原小学校長 小嶋 隆弘

いわ桜小学校長 高橋 広美

美山中学校長 大畑 祐司

4 協議事項

(1) 困り感を持った子どもたちの現状について

(2) 山県の教育のブランディングについて

5 会議の概要

別添のとおり

午後1時15分 開会

会議進行：学校教育課課長補佐	
市長あいさつ	
市長	<p>昨年度から、コロナ禍にあって学校教育現場は大きく変わってきたと思います。</p> <p>今日はこの資料で説明いただけるとは思いますが、教育長の思いを、学校の皆さん、教育委員会の皆さん、じゅうぶん理解していただいて、ひとつの方向に向かって進んでいきますことをお願いするものです。</p> <p>資料に「1学年100人時代」とあります。山県市の出生状況を調べますと、平成10年は246人でしたが、平成20年は190人、昨年は111人でした。今にも1学年が100人、5年先には二桁の状況が続くこととなります。20年先には、子どもの数だけで考えると、小学校も中学校もひとつでいいという状況となります。</p> <p>そうしたなかで、教育長の「山県の教育のブランディングについて」、期待してお聞きしたいと思います。</p>
2 協議事項	
(1) 困り感を持った子どもたちの現状について	
学校教育課長	<協議事項(1)について説明>
(2) 山県の教育のブランディングについて	
教育長	<協議事項(2)について説明>
千葉委員	教育長は、実現するのは難しいと言われていますが、内容は理想的だと思いますので、障害となることをひとつひとつ解決しながら少しずつでも進めていきたいことだと思います。
川田委員	不登校になってしまった親子は本当に苦しいと思いますので、将来引きこもりにならないように、小中学校の内に不登校から立ち直れる居場所づくりに力を入れていただきたいと思います。
教育長	子どもサポートセンターという名称ではありませんが、不登校については、教育センターが担当しています。教育センターというと、先生たちのというイメージがあるので、ちょっとわかりにくいかもしれません。

大野委員	特別支援を要する子どもたちは、現実的に増えているという感覚があります。その理由は、学校が行きたくない場所になっているのではないかと思います。
教育長	結果として適応できない子どもたちが増えているということだと思います。先生たちが変わらなければ、外れてしまう子どもたちが出てきて、その子どもたちをひとくくりにしてもうまくいかない。だから、個別に合わせるようにするしかない。それを我慢させると、適応できない子どもがもっと増える状況にあると思います。
教育長	今日は校長先生方がいらっしゃるので、御意見をお願いします。
美山中学校長	不登校の生徒だけでなく、子どもたちの適応力には心配なところがあって、人間関係をつくる力を付けることが学校教育の課題なのかと思います。学力だけでなく、基盤となる人間関係をつくる力があって、お互い教え合ったり共同して課題を解決したりすることが重要で、美山中でも学年を超えた活動をしています。山口市全体でそういった力を付ける関係性を高めていくことが大事だと思います。
梅原小学校長	コロナ禍の中で、変化を柔軟に受け止める素地が世界に広がっていますので、こうした夢のような新しい発想を、今だからこそ情報発信していくべきだと思います。
いわ桜小学校長	いわ桜小では、少ない子どもたちが苦勞しながら人間関係を学んでいます。親の願いは、少ない人数でありがたいと思うところ、もっと大勢の中で学ばせたいと思うところ、シーンによって違うので、それを使い分けられる教育長の構想はすばらしいと思いました。
教育長	わずかでも困っている子どもや親を救ってあげられるところを手始めにやらないといけないと課題意識を持っています。
市長	私が市長に就任して1年目か2年目の時、当時の岐阜市長に、教育委員会を広域で設置できないかという話をしたことがあります。広域で行えば、岐阜市の草潤中学校を山県市民も利用できるわけで、実現はしませんでした。そんな当時のことを思い出しました。
教育長	学校教育課長、何かありますか。
学校教育課長	データを改めて集計した時、年間の出生者が約100人と、子どもの数が急激に減っていくことは、強烈なインパクトがありました。子どもが少なくなった分、ひとりひとりに対して手厚くはできるのだろうけど、そのためにどうするのか、先のことを考えないといけないと痛烈に思いました。

	<p>また、小6で京都・奈良、中3で東京へ行くという当たり前の修学旅行へ、コロナで行けなくなりました。では、本当に従来の修学旅行が必要なのか、という発想を転換する時期なのかなと思います。</p> <p>もうひとつ、タブレット端末ですが、今は楽しく目新しいので子どもたちは喜んで使っていますが、これが当たり前になったときに、子どもたちに興味を持たせるためにどういう使い方があるのか、ということは今から考えないといけないのかなと思います。</p>
教育長	生涯学習課長、何かありますか。
生涯学習課長	<p>生涯学習課としては、市長の肝いりでもある3公民館のコミュニティセンター化に向けて動きつつあります。伊自良中央公民館と伊自良老人福祉センター、伊自良支所の3つを伊自良コミュニティセンターとして、来月から工事に入り年度末に完成予定です。将来的には、美山中央公民館と高富中央公民館をコミュニティセンター化し、中央公民館の本部は美山中央公民館に置く予定です。</p> <p>また、文化ゾーンの古田紹欽記念館、花咲ホール、図書館の3つの施設については、文化系部活動の拠点ということも視野に入れながら一体的な活用を検討しています。</p>
教育長	市長、このような状況で進んでおります。
市長	わかりました。
学校教育課課長補佐	ただ今、皆様から承ったご意見を参考に、今後の事業の推進を検討していきたいと思っております。

午後2時35分 閉会